

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒215-0021
 住 所 川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号
 氏 名 中新産業株式会社
 代表取締役 中島 真一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	中新産業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	貸事務所業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,203	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	中新産業株式会社
		所在地	川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号
		電話番号	044-959-3650
		FAX番号	044-959-3657
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,752 t-CO ₂ (調) 3,744	(実) 3,716 t-CO ₂ (調) 3,708	(実) 3,719 t-CO ₂ (調) 3,710	(実) 3,654 t-CO ₂ (調) 3,647	(実) 3,671 t-CO ₂
削減率		(実) 1.0 % (調) 1.0	(実) 0.9 % (調) 0.9	(実) 2.6 % (調) 2.6	(実) 2.2 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	空調熱源の冷水設定温度を、通年7℃→12℃～15℃に変更。 また夏期の予冷運転時間を短縮したことにより、ガス消費量を前年の24.7%削減することが出来た。
第2年度	ガス空調熱源設備が故障した為、ガス使用量が低下。その代替として結果的に電気使用量の増加へと繋がった。また一部照明をLEDへ照明設備を更新し年間約3,000kWhを削減。熱源設備の給湯バランスの調整も実施し、結果として削減率0.9%となった。
第3年度	ガス空調熱源設備の修理により、第2年度と比較してガス消費が増加し電気使用量が減少した。 削減目標の2.2%達成については、CO2排出量の多いガス空調熱源設備の運転方法を毎年見直した結果である。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・管理標準の見直し、改善 ・機器エネルギー効率を維持、向上のため維持管理点検実施 ・主要機器におけるエネルギー使用状況の分析管理 ・空調熱源（吸収式発生機、チラー、GHP）を状況に応じて選定及び設定変更することによる高効率運転の実施 ・空調機器のモーター用Vベルトを省エネタイプに変更 ・節電型ランプの採用を推進 ・給湯設備における複合熱源の総合エネルギー効率の向上
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・機器エネルギー効率を維持、向上のため維持管理点検実施 ・主要機器におけるエネルギー使用状況の分析管理 ・空調熱源（吸収式発生機、チラー、GHP）を状況に応じて選定及び設定変更することによる高効率運転の実施
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・機器エネルギー効率を維持、向上のため維持管理点検実施 ・熱源設備（真空温水ヒーター、マルチ給湯器）の給湯バランス調整によるエネルギー使用効率の向上 ・主要機器におけるエネルギー使用状況の分析管理 ・一部照明設備をLEDへ更新
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・機器エネルギー効率を維持、向上のため維持管理点検実施 ・主要機器におけるエネルギー使用状況の分析管理 ・入居テナントへの節電型ランプの採用を推進 ・給排気ファンのインバータ更新
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	店長会を通じ、ペーパーレス化・ごみ分別化の環境教育を行った。また従業員用エレベーターの使用においても近隣階へは階段を利用するよう後方通路に案内を掲示した。
第3年度	第2年度に実施した内容を継続して行い、従業員用トイレや従業員休憩室において、節電・節水を促す案内を掲示した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	4,009	t-CO ₂
(調)	4,069	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
中島ビル	川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号	6911	貸事務所	3,912 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	1

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--